

## ●世界の主な地震

平成 25 年 (2013 年) 11 月に世界で発生したマグニチュード (M) 6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

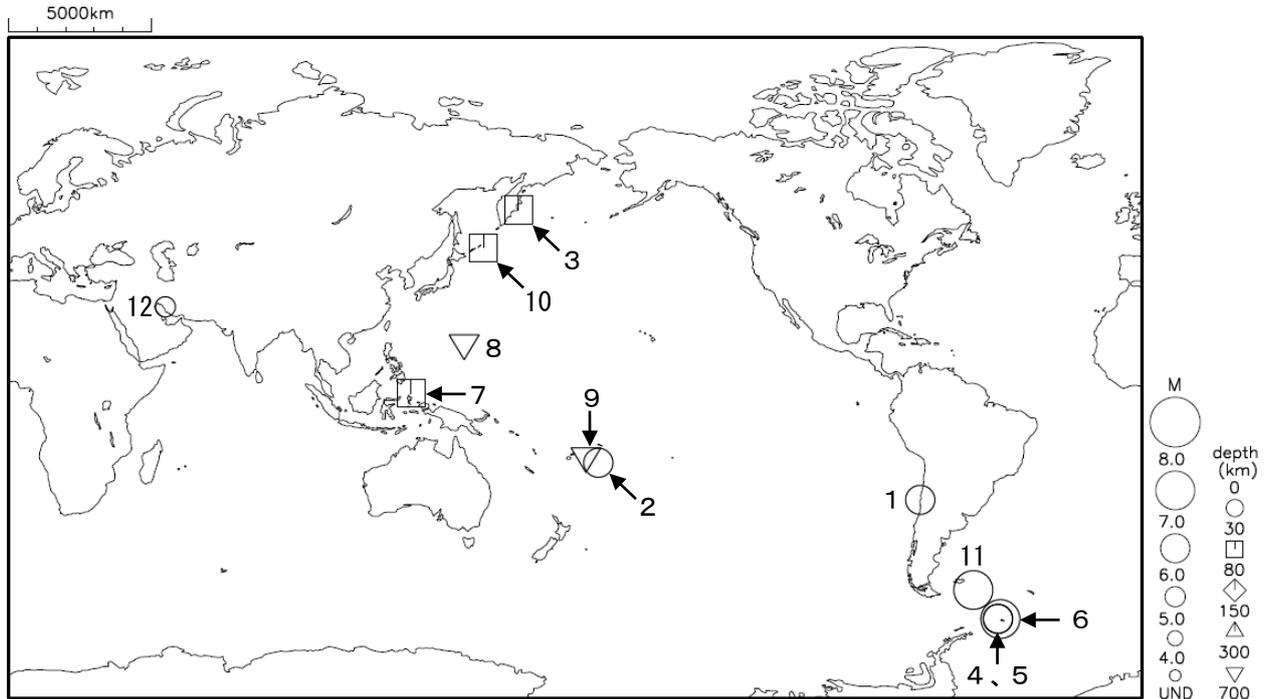


図 1 平成 25 年 (2013 年) 11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- \* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2013 年 12 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- \*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- \*\*\* : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 25 年 (2013 年) 11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	11月01日08時03分	S30° 17.8'	W 71° 33.4'	29			6.6	チリ中部沿岸			
2	11月03日03時53分	S19° 10.8'	W172° 39.8'	10			6.2	トンガ諸島			
3	11月12日16時03分	N54° 40.8'	E162° 17.1'	47			6.6	ロシア、カムチャツカ半島東岸		○	
4	11月14日08時45分	S60° 15.6'	W 47° 11.7'	10			6.1	スコシア海			
5	11月16日12時34分	S60° 12.7'	W 47° 06.4'	10			6.8	スコシア海			
6	11月17日18時04分	S60° 16.4'	W 46° 24.0'	10			(7.7)	スコシア海			○
7	11月19日22時32分	N 2° 41.3'	E128° 27.6'	39			6.1	インドネシア、ハルマヘラ			
8	11月20日02時00分	N18° 28.9'	E145° 11.1'	511			6.0	マリアナ諸島			
9	11月23日16時48分	S17° 05.8'	W176° 33.7'	377			6.5	フィジー諸島			
10	11月25日14時56分	N45° 34.9'	E151° 12.2'	30		(6.0)	(6.0)	千島列島			
11	11月25日15時27分	S53° 52.8'	W 54° 52.9'	10			7.0	フォークランド諸島			
12	11月28日22時51分	N29° 21.7'	E 51° 18.8'	16	5.6			イラン南部	死者8人、負傷者209人、住家被害300棟		

- ・震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2013 年 12 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、マグニチュード (Ms の欄に括弧を付して記載) 及び Mw の欄が括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。
- ・11 月 28 日に発生したイラン南部の地震の被害状況はイラン国営放送ホームページによる (11 月 30 日現在)。
- ・震源時は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

# 11月17日 スコシア海の地震

2013年11月17日18時04分（日本時間、以下同じ）に、スコシア海の深さ10kmでMw7.7の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が東北東-西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、スコシアプレートと南極プレートの境界付近で発生したと考えられる。

気象庁は、この地震について同日18時31分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「太平洋で津波発生可能性があります。この地震による日本への津波の影響はありません」）を発表した。

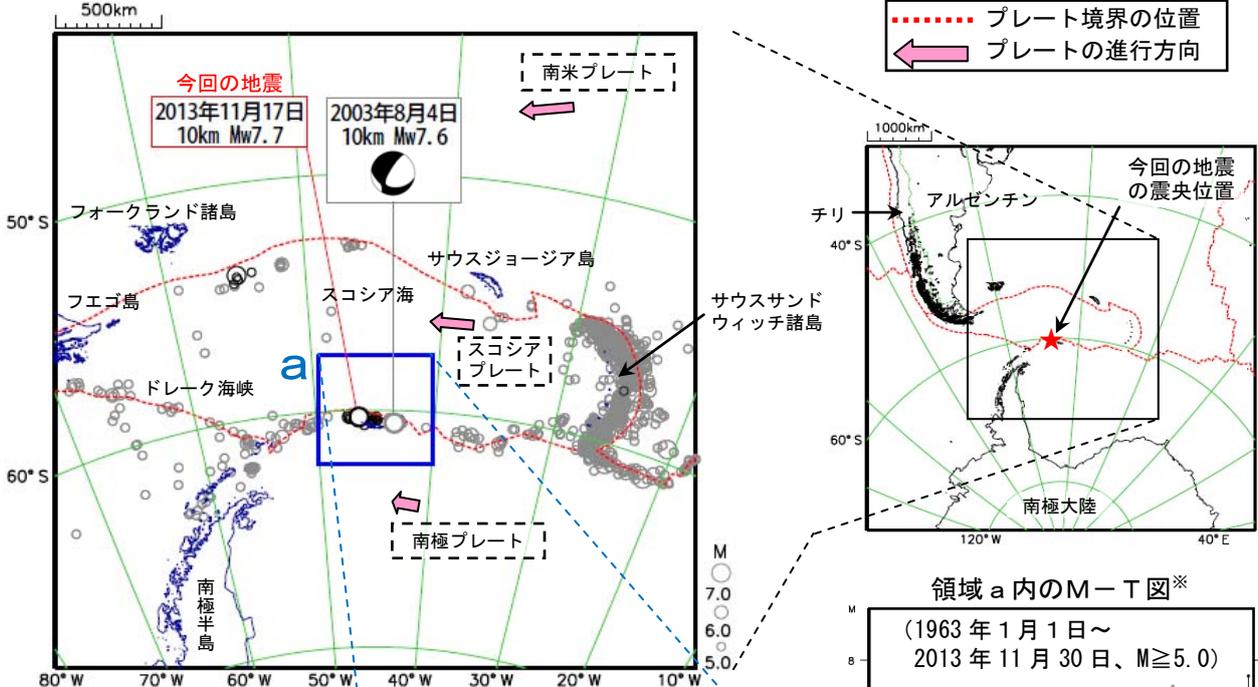
今回の地震の発生前の11月14日と16日に、ともに今回の地震の震央の西約40kmの深さ10kmで、M6.1とM6.8の地震が発生していた。また、今回の地震の発生後は、今回の地震の震央周辺でM5.7の地震を最大規模とする余震活動があった。これらの地震の震央は、概ねスコシアプレートと南極プレートの境界付近に沿って東西方向に約300kmの範囲に分布している。

1963年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、2003年8月4日に今回の地震の震央の東約150kmの深さ10kmでMw7.6の地震が発生した他は、M6.0を超える地震は発生していなかった。

震央分布図※

（1963年1月1日～2013年11月30日、深さ0～50km、M≥5.0）

2013年11月の地震を濃く表示した。今回の地震及び領域a内のM7.0以上の地震に吹き出しを付けた。

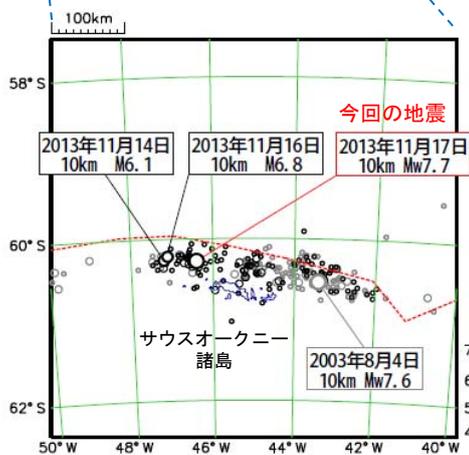
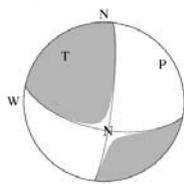


（右）領域a内の震央分布図※

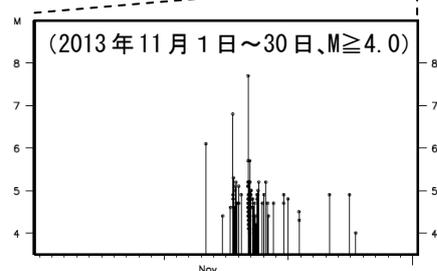
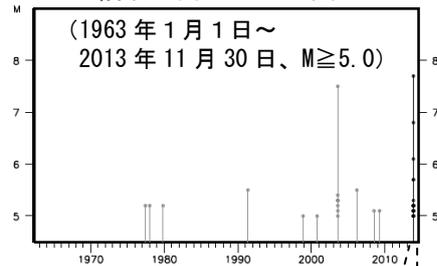
(M≥4.0)

2013年11月の地震を濃く表示した。今回の地震及びM6.0以上の地震に吹き出しを付けた。

今回の地震の発震機構  
(気象庁によるCMT解)



領域a内のM-T図※



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁、2003年8月4日の地震の発震機構と Mw は Global CMT Project（米国のコロニア大学とハーバード大学によるプロジェクト）による。その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2013年12月3日現在。ただし、2013年9月25日以降に未処理のデータがある）。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) \*より引用。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.